

(氏名) 藻利 衣恵	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>現在は、今後国内外の会計処理の構造を帰納的に分析するに先立ち、ストック・オプション (Stock Options; SO) に関する会計問題について検討を行っている。この会計問題は、SO を権利行使すれば、株式が交付される。そのため、SO の会計処理を検討する際には、労働サービスの費消に伴う費用認識だけでなく、会計上の資本と利益に関する問題も生じることなどから、財務会計領域のなかでも、難易度の高い会計処理のひとつである。</p> <p>(1) 平成 26 年度の成果の報告書【研究活動】の(1)に記載した内容について、検討の結果を、2015 年 5 月に開催された現代資本会計研究会 (於 名古屋大学)、第 3 回川村義則拡大大学院ゼミ (於 早稲田大学)、および早稲田大学会計研究所 契約理論セッションで発表した。その後、本稿をさらにブラッシュアップしたうえで、辻山栄子編著『国際財務報告基準 (IFRS) の理論的分析』の第 6 章として、2015 年 11 月に刊行した。(本書は、研究書としては珍しく、2016 年 1 月時点で増刷が決まっている。)</p> <p>(2) これまでの研究をまとめるべく、ストック・オプションに関した隣接領域も含めた論点をまとめた研究ノート、「ストック・オプションに関する論点」を投稿し、『産業研究』第 52 巻に掲載する予定である。</p> <p>(3) 海外の研究者から自身の研究に関する意見を聴取し、また、英語での研究発表の経験を積むべく、2013 年に刊行した「ストック・オプション会計に関する歴史の変遷」(『産業経理』第 73 巻第 2 号) を加筆・修正したものを、3 月 12 日に早稲田大学で開催される第 6 回川村義則拡大大学院ゼミと、3 月 15 日に名古屋大学で開催される International Conference on Business, Economics, and Information Technology で報告する予定である。(※この書類は、2 月に作成。)</p> <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講義：財務会計 I・II および上級簿記 <p>昨年作成した、飯野利夫. 1993.『財務会計論 (三訂版)』. 同文館. に記載されている、G・B・G' の図を用いたスライドを、斎藤静樹. 2014.『企業会計入門ー考えて学ぶ』. 有斐閣. をもとにブラッシュアップした。また、当日説明するトピックスについて、学生に会計を身近に感じてもらうべく、日本経済新聞の記事を用いた補足説明を行った。</p> <p>一方、上級簿記については、昨年の資格試験対策の授業から、安平昭二.『簿記要論』『簿記詳論』. 同文館. を用いての、簿記の理論 (計算構造) に関する授業に切り替えた。</p> ● 基礎演習 (2 年) <ol style="list-style-type: none"> ① 予習用問題を作成し輪読・質疑応答を行うことで、財務会計の基本的な内容を習得した上で、 ② 実際の財務諸表にどのようなことが記載されているか、それらが企業の経営 (戦略) 等とどのような関係を有しているかを理解してもらうため、慶應ビジネススクールの教材を使用し企業分析し、ディスカッションを行った。 <p>基礎演習生に、財務会計 I・II の並行履修を進め、発表担当者の配付資料を事前に指導した結果、(指導教員個人の主観ではあるが) 現 3 年生より、財務会計に関する定着は</p> 	

進んでいるように思う。

● 演習 I (3年)

基礎演習で習得した知識を進化させたうえで、情報収集・分析能力とプレゼンテーション作成・発表能力を向上させるべく、2グループに分かれてグループ研究を行った。(なお、発表の際には、異なる大学や異なる専門分野の学生が集まる場を3カ所用意することにより、場に合わせたプレゼンテーションが出来るよう、教育を心がけた。)

その結果、日経インナー大会は予選落ちに終わったものの、その際に高レベルなプレゼンテーション作成・発表能力を獲得し、うち1班が二度目の経済学部プレゼンテーション大会優勝、各班より1名ずつが個人 MVP を獲得した。また、三度目の明治学院大学・跡見学園女子大学・國學院大學とのインターゼミでは、2班とも優勝ないしは準優勝を果たした。

なお、グループ研究の具体的な内容は、下記の通りである。

班	インナー大会	学長杯	インターゼミ
A 班	群馬県の農業を守ろう！ ー持続させるための農業 人育成ー	農業における会計 の重要性	日本農業への IFRS 導入
B 班	レンタサイクル事業	「高チャリ」 今後の運用方法について	地方自治体の会計

【その他】

- 自宅でポータルサイトが閲覧できない学生やレジユメを印刷し忘れた学生等に対応すべく、ホームページを作成し、ポータルサイトだけでなくホームページ上でも授業・ゼミ関連情報の公開・レジユメの配布も行った。

2 その他の事項

- 図書館運営委員 (学生用選書 40 万円分/推薦図書コーナー含む)
- 高崎経済大学経済学会理事 (新入生用冊子『Intro』の作成/研究会司会)
- 『高崎経済大学論集』査読
- 高崎経済大学生活協同組合監事 (2015 年 4 月～)
- 地元企業への国際財務報告基準 (IFRS) に関する講義

3 次年度以降の計画・抱負

【研究活動】(間に合わないかのせいも存在するが、)

- (可能な限りの) 博士学位の取りまとめおよび申請
- 現在、Laux, V. 2015. Pay Convexity, Earnings Manipulation, and Project Continuation. *The Accounting Review* 89(6): 2233-2259. の解題を行っている。その解題論文を、佐藤紘光先生・鈴木孝則先生編著の『会計情報のモデル分析 2 (仮)』に掲載予定である。

【教育活動】

- 1 期生が 4 年生となるので、全員に卒業論文を執筆して頂き、無事、卒業させる。他の授業や演習については、昨年度までをベースとして、さらにそれらのブラッシュアップを図る。(特に、簿記については、日商簿記検定・全商簿記検定の試験範囲改訂に伴い、担当科目その他の業務での必須であるため、あらゆるレベルで対応できるように、中長期的に勉強中である。)